



理事長 神 孝

ごあいさつ

平素は、東春信用金庫をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。

本年も、ここに当金庫の令和5年度の事業内容やさまざまな事業活動をお伝えするディスクリージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

令和5年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが、「5類」へ移行したことから、社会経済活動の正常化が進み、個人消費が持ち直しインバウンド需要の回復もあり、国内経済は緩やかに回復してきました。

一方で、物価上昇対策として米欧中央銀行の金融引き締めに伴う円安の長期化や日本銀行が2016年1月に導入したマイナス金利政策を8年振りに解除するなど、今後の国内外の経済情勢や金融市場の動きが不透明な状況が続くな、地域金融機関にとっては、不安定で厳しい経済環境の1年となりました。

こうしたなか、当金庫は地域経済を支える中小零細企業と個人の専門金融機関としてお客様の課題解決に向けた活動に取組み、課題解決支援の拠点である「とうしゅん中小企業パートナーセンター」への相談件数は一層増加いたしました。

また、事業性資金などのお客様のニーズに積極的に応えた結果、預金、貸出金はともに増加し、損益については金利上昇局面を背景に余資運用収益が増加したほか、手数料収入などの役務取引収益の増加やローコスト経営の推進等により、本業の収益を示す指標であるコア業務純益(投信解約益除く)は増加し、自己資本額を積み上げるなど健全性が向上いたしました。

令和6年度は、経済活動が緩やかに回復する一方、パレスチナ、ウクライナ情勢の長期化や、米中の対立、海外景気後退局面により国内景気を下押しする懸念や日本銀行のさらなる金融政策の見直しなど、先行き不透明で予断を許さず引き続き厳しい経営環境が続くものと想されます。

中期経営2カ年計画の最終年度として、中小零細企業と個人の専門金融機関として、金融仲介機能を発揮するとともに、経営基盤の強化に努めてまいります。

お取引先の事業承継や経営改善、補助金申請等の経営課題を適切に把握し、外部専門家活用を含めた課題解決型営業を強化するとともに、GX等の社会課題の解決支援にも取組み、存在感のある地域金融機関を目指してまいりますので、今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

加えて、DX推進により新システム導入による業務効率化を進め、お取引先の利便性向上に努めてまいります。

2024年7月

東春信用金庫経営理念

すべてを顧客への感謝に発し

円滑なる中小企業金融を通じ

地域社会の発展に貢献するを第一義とし

併せて従業員の幸福と共に永久の繁栄を期する

東春信用金庫は、この経営理念のもとで、地域と地域の会員・顧客と共に悠久の発展を目指し、昭和27年の創業以来、全力でその実現に取組んできています。

|東春信用金庫の経営方針

「信頼性の向上」

コンプライアンス態勢や顧客保護態勢を徹底していくほか、地域社会との共生に向けた地域密着型金融の推進等によって、地域社会からの信頼性の向上を目指します。

「経営基盤の確立」

会員・顧客の信頼を得て、会員・顧客のニーズに応えられる金融サービスを提供していくために、収益力とリスク管理を強化して経営基盤の確立を図ります。

「人材の育成」

会員・顧客サービスの向上、リスク管理の強化等を図り、地域に貢献できる組織を維持、発展させていくために、会員・顧客に信頼され、適切な業務運営を遂行できる人材の育成を図るとともに、組織に貢献する職員の生活向上と福利の増進を図ります。

CONTENTS

- ごあいさつ 1

とうしゅんの概要

- 2023年度 業績の概要 3

- 金庫の概要 5

地域との関わり

- とうしゅんと地域社会 6

- 地域とともに72年のあゆみ 11

とうしゅんの取組み

- リスク管理への取組み 13

- 法令等遵守の態勢 14

- 不良債権の状況 15

- 地域金融円滑化への取組みについて 16

- 自己資本の充実の状況等について 17
～定性的な開示事項～

とうしゅんについて

- 総代 総代会 19

- 営業のご案内 21

- 手数料一覧 24

- 店舗のご案内 25

※財務諸表等については、「別冊資料編」に掲載しています。
「別冊資料編」につきましては当金庫ホームページにてご覧いただけます。

東春信用金庫

本店所在地 〒485-8656

愛知県小牧市中央一丁目231番地1

ホームページ <https://www.shinkin.co.jp/toshun/>

創業 昭和27年6月

出資金 1,072百万円

会員数 17,043人

常勤役員数 204人

店舗数 19店舗

(出資金以下、2024年3月末現在)



左:小牧市中央図書館 中央:小牧山城 右:当金庫本店